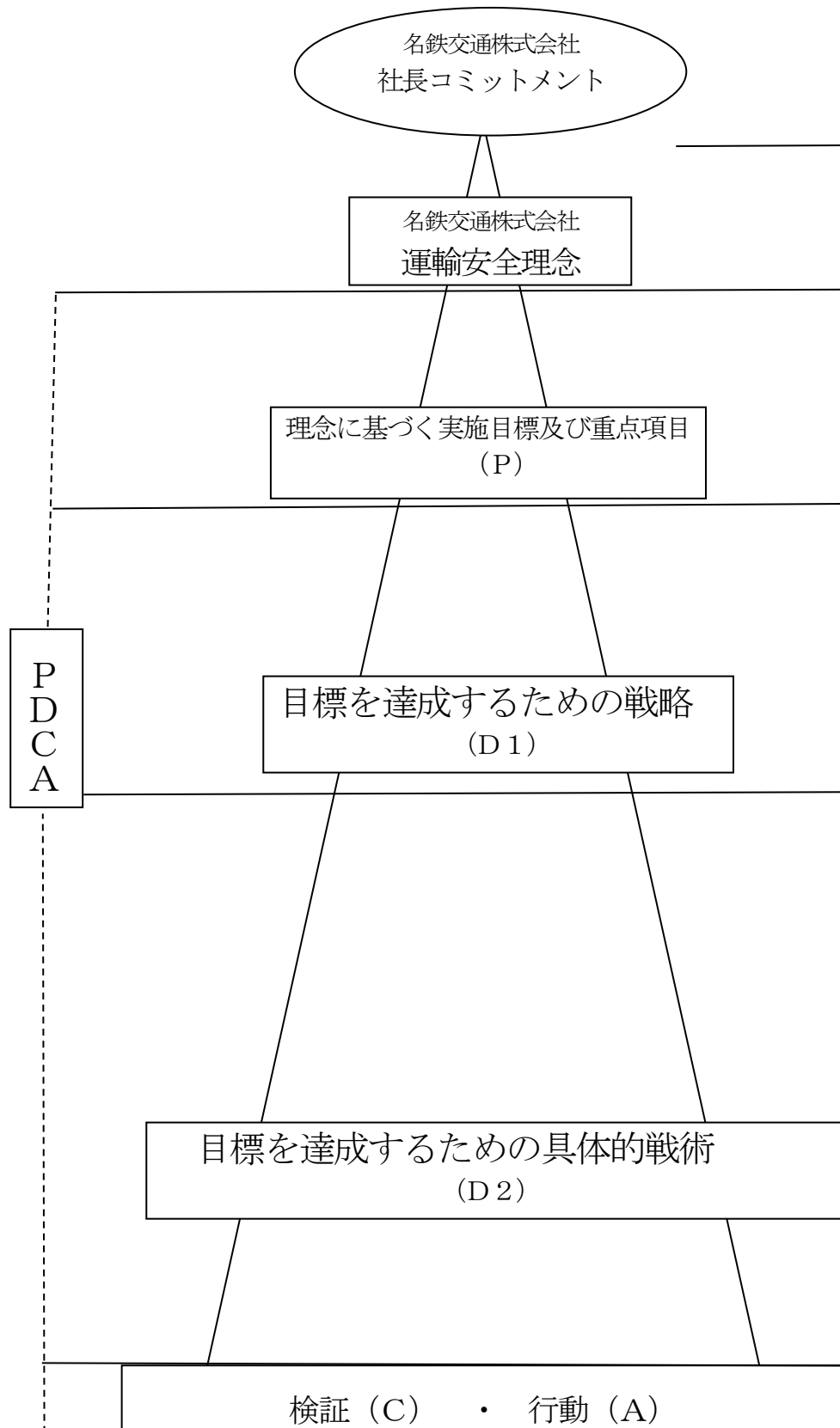


運輸安全マネジメントの取組み

平成27年4月1日～平成28年3月31日



- ① 全ての事業経営に際して、コンプライアンス（法令遵守）に基づき、社是を実践する。
*安全・安心・信頼の実現、地域社会への貢献 {名鉄タクシーホールディングス（株）}
*お客様を大切にする、従業員を大切にする。{名鉄交通（株）}
- ② お客様の『ところ』をつなぎ、お客様の安全と安心を最優先とした運転に徹し、「地域から信頼されるトップブランド」を目指す。近距離、高齢者、女性のお客様を大切にする。
- ③ 「運輸安全マネジメント」への取り組みを強化し、絶えず真摯に日々の行動と結果を振り返り、その改善や実現への持続的な努力により、「輸送の安全確保」に率先垂範して取り組む。

安全・安心を真心こめてお届けします。
事故を起こさない、起こさせない運転を誓います。

心のこもった自己紹介「近」「高」「女」の心
近距離・高齢者・女性は大切なお客様です。

- ① 平成27年度有責事故抑止 *目標 140 件以下
(10万キロ走行あたりの事故件数0.27件以内、重大事故0件)
*基地別目標 南1(37)、南2(31)、西(44)、中川(26)、ハイヤー(2)
*多発事故の抑止 (進路変更・追突・出会頭・自損・横断歩道事故)
- ② コンプライアンス(法令遵守)の徹底
(信号無視、速度違反、一時停止違反、飲酒運転、違法駐車、救護義務違反)
- ③ サービスの活性化(質の高い、選ばれるタクシー)

- ① 人材の育成、コミュニケーションの活発化
- ② 運輸安全理念の徹底及びサービス・接客教育の推進
- ③ 現場管理者の実務、管理能力の向上
- ④ スピード抑止及び多発事故防止対策の推進
- ⑤ 事故、苦情、要望意見に対する迅速的確な対応
- ⑥ 新人、フレックス職員に対する安全教育等の強化
- ⑦ 事故惹起者、接客不良者に対する再教育の推進
- ⑧ 営業系の心身状態等の特性の把握と適切な指導
- ⑨ 社内ネットワークの効果的な活用

- ① 代表者及び役員は、基地へ積極的に巡回し、安全方針の周知徹底や交通事故防止、サービスの活性化、営収の向上に努める。
- ② 総括支配人及び基地管理者は、名鉄タクシーホールディングス（株）内部監査室と連携を図り、適正且つ効率的な業務の推進に努める。
- ③ 総括支配人は、管理者の指導教育及び意見交換等の機会を充実させ、実務、管理能力のレベルアップに努める。
- ④ 総括支配人及び基地管理者は、コミュニケーションの一層の活発化を図り、スピード抑止、一時停止の完全実施、深夜点呼等を徹底し交通事故の未然防止に努める。
- ⑤ 総括支配人及び基地管理者は、ドライブレコーダー、GPS情報を積極的に検証し、危険運転、法令遵守、接客状況等の把握に努め、個別指導の強化に努め再発防止を図る。
- ⑥ 総括支配人及び基地管理者は、支配人会議、事故審議委員会、サービス向上委員会、事故予防会議、モラル向上委員会及び基地反省会等の結果の徹底を図るとともに、その浸透状況を検証する。
- ⑦ 総括支配人及び基地管理者は、緊密な連携に努め、引き継ぎ簿等を活用し、交通事故、トラブル及び営業系の身上等重要事項については「報、連、相」を徹底する。
- ⑧ 総括支配人、基地管理者は、名鉄タクシーホールディングス（株）教育センターと緊密な連携を図り、交通事故、接客状況等を積極的に検証し、該当者等に対する個別指導（再教育、オブジェ教育、横乗り指導）等の強化に努める。
- ⑨ 総括支配人及び基地管理者は、アルコール測定器の常時点検を行い、営業系の出・入庫のアルコール濃度測定を確実に実施し、飲酒運転及び補助事案ゼロを実践する。
- ⑩ 総括支配人及び基地管理者は、重大事故等が発生した時は、関係部署等と緊密な連携を図り、迅速、的確な対応に努める。
- ⑪ 総括支配人及び基地管理者は、名鉄タクシーホールディングス（株）人事部と連携を密にし、営業系の心身面（健康等）の把握に努め、適切な個人指導を実施する。
- ⑫ 総括支配人及び基地管理者は、社内ネットワークを積極的に活用して各種情報の共有化に努める。

- ① 各種会議、委員会を通じて施策の進捗状況、目標の達成状況を検証し、随時、業務の改善に努める。
(役員会、独算制会議、支配人会議、事故予防会議、モラル向上委員会、内部監査等)
 - ② 代表者は、1年毎にマネジメントレビューを実施し、管理体制、事故防止対策、サービスの活性化方策等の継続的改善に努める。
- * PDCAサイクルにより、施策を推進する。